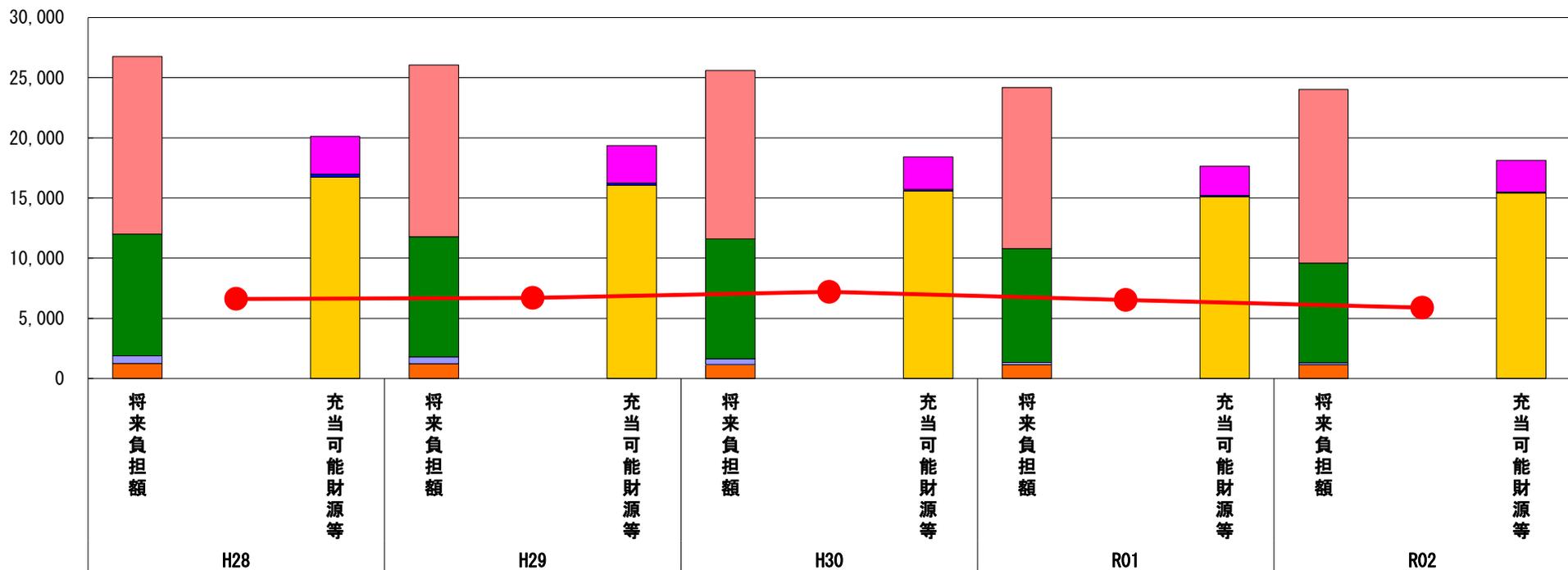


(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和2年度

京都府京丹波町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H28	H29	H30	R01	R02
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		14,748	14,264	14,000	13,369	14,444
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		10,102	9,992	9,958	9,473	8,264
	組合等負担等見込額		643	555	477	196	167
	退職手当負担見込額		1,254	1,240	1,167	1,136	1,152
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能財源等 (B)	充当可能基金		3,142	3,115	2,683	2,424
充当可能特定歳入			249	177	140	106	88
基準財政需要額算入見込額			16,735	16,068	15,583	15,113	15,419
(A) - (B)	将来負担比率の分子		6,622	6,693	7,195	6,531	5,888

分析欄

将来負担額のうち一般会計等に係る地方債現在高は、近年の大型事業の影響により増加傾向となっていたが、平成29年度に繰上償還を実施したことにより減少となった。
 次年度以後においては新庁舎や認定こども園の整備等により地方債現在高は再び増加することが見込まれることから、令和元年度（平成31年度）には約5億円の繰上償還を実施したところである。
 また、将来負担額から差し引かれる充当可能基金は、減債基金において、後年度の繰上償還に活用するための積立を行ったことから、対前年度208百万円の増加となった。
 引き続き、将来世代に過度な負担の先送りがないように財政運営に取り組む。

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。